

令和6年9月9日

進路激励会 激励のことば

皆さん、おはようございます。

2学期もスタートして1週間が経ちますが、順調にスタートできているでしょうか。

本日は、3年生の進路激励会ということで、3年生と1,2年生に集まってもらいました。

アフターコロナの今年は、先日、進路指導部の先生からもあったように、本校に対する求人数は昨年度と比べても増えていると聞いています。これは、以前もお話したように、皆さんの校内外での活躍と、卒業生の会社における信頼度の高さが反映された、隼工ブランドによるものと思われれます。

今年も例年どおり3年生は、7割が就職、3割が進学を希望しています。この夏、就職希望・進学希望の3年生が、先生方のご指導とご協力の下、夏休みも返上して一生懸命に対策を取り組んでいました。

1,2年生の皆さんも、先週の進路事前学習会で、3年生の普段見ることのない真剣な受け答えの様子を見て、一年後、二年後、自分もこの様にお話しすることができるようになるかなど、感じることも大いにあったのではないのでしょうか。

3年生にとって、来年度の春に入社するための、各社が実施する就職試験は、9月16日からと、いよいよ日が迫っています。

また、来春の大学・短大・専門学校等、上級学校へ進学するための入学試験も、10月1日から順次行われます。

私は、3年生が、これらの試験に合格し、自分の特性を思う存分に発揮して、又は伸ばして、輝かしい人生をスタートして欲しいと、切に願っています。

さて、試験を迎えるにあたって、筆記試験で知識や考え方など学力を発揮し、記入することはもちろんですが、そこで必ずといっていいほど実施されるのは、面接です。

面接は、「学校はどの様な学校で、教科は何が得意か、欠席は何日だったか、部活は何に所属していたか」といった、ホームページや調査書にも書いてある**事実**だけを言うのでは、皆さんの想を知る機会がなく、わざわざ面を接して行うこの面接を、設定する意味がありません。

面接官は、皆さんが「学校で、どんな嬉しいことや辛いことがあって、それをどの様に考えて、今後どの様に活かしたいと考えているのか」といった、一緒に仕事や活動をする相手として、皆さん自身の人柄を知りたいと、考えているからです。

そこで私から皆さんに、面接や普段の会話で重要となる3つをアドバイスしたいと思います。

まず一つ目に、自分の人柄となる、事実を基とする「感想」と、「今後の想い」を、しっかりと伝えることです。

二つ目に、普段のコミュニケーション力が大切にもなるのですが、言葉をつむいで語る「言語コミュニケーション」だけが大切なわけではありません。

理解や同感を示すうなずきや、疑問を感じるかしげる表情、話題に同調して楽しい表情を見せるなど、言葉を介さないでも面接官と皆さんがシンクロする「非言語コミュニケーション」と言われる意思伝達は、人柄を表現する大切な要素となるのです。

三つ目に、「話す」ではなく「伝える」ということです。抑揚など感情もなく、一方的にただ話しても相手には伝わらないことがあります。面接試験や普段の会話でも「伝える」ことは大切です。

一方的なテンポで、相手にとって聞き取りにくい会話では、本当の意味で「話した」「伝えた」ことにはなりませんし、伝わらなければ、わざわざ面接会場で「独り言」を言ったにすぎません。

相手が聞き取りやすいように「行間や、間」を空けたり、大切なことを伝える時には、強調するなど工夫をして、「伝える心配り」もしてみてください。

最後になりますが、ここにいる生徒全員の皆さんは、やがては社会の一員として活躍する日がやってきます。

会社は、社会の方々に喜んでもらうために存在し、利益を上げて社員の経済的安定を保証し、社員と協力して新製品開発を行い、また、人々に喜んでもらうといったサイクルの中で、「地域の発展と、人々の幸せの為に存在する」といった理念を掲げて、経済活動・貢献活動を行っています。

皆さんは、その本質を良く理解して、学校生活の中で、やがて会社の一員として役割を發揮できるように、その素養を身につけることに注力する生徒となり、進路実現を果たせることを祈念して、進路激励会、激励のことばといたします。